



令和8年 如月

城北中だより

城北中学校教育目標

- 思いやりのある生徒
- 真剣に学ぶ生徒
- 健康な生徒

令和8年2月2日 発行

「対話力」の育成の必要性

校長 和田 卓也

昔から「1月『往ぬる』2月『逃げる』3月『去る』」と申しますように、あっという間に2月を迎えた印象です。寒さが厳しい日々が続いております。皆様におかれましては、体調など崩されることなくおすごしでしょうか。ちなみに本校は、1学年は2月中旬の「館岩自然の教室」、2学年は、1月末の東京校外学習を終えた振り返り、そして3学年は、既に始まっている私立受験に続く2月末の公立高校受検に向け、着々と取組を進めているところです。特に3学年については、人生の中の一つの岐路に当たる大切な時期。体調管理に十分留意し、有意義に過ごしてほしいと思います。

そんな中、先日、2学年東京校外学習実行委員の生徒から依頼があり、2学年生徒の前で話をする機会を頂きました。このような機会は、約1年前の館岩自然の教室事前学習以来。せっかくの機会でしたので、昨年の自然の教室の取組を通して生まれ、今年重点目標となった「考える」→「反応する」→「対話する」ということに触れ、簡単な質問を通して自己評価をしてもらいました。

ちなみに生徒たち自身の評価としては、「まだまだこれから…」といった様子でした。このような様子も踏まえ、来年度の重点目標についても今年度を継続しつつ、その中でも近年とくに大切だと感じている力の一つ「対話力」の育成に焦点を当てていく方向で検討を進めております。

対話力とは、ただ自分の意見を伝える力ではありません。相手の話をよく聴き、考えを受け止め、その上で自分の思いや考えを言葉にして伝える力です。意見が違っても、相手を尊重しながら話し合うことができる力とも言えます。

また、**対話力とは、相手を言い負かす力ではありません。**自分と異なる考えや感じ方があることを認め、相手の立場に立って理解しようとする姿勢です。たとえ意見が対立したとしても、話し合いを通して解決策を見いだそうとする経験は、学級の信頼関係を深め、いじめの起こりにくい雰囲気をつくります。いじめは、悪意だけでなく、言葉の行き違いや思い込み、気持ちが伝わらないことから起こる場合もあります。「言わなくても分かるだろう」「どうせ理解されない」と気持ちを閉じ込めてしまうことで、すれ違いが大きくなってしまふことがあります。だからこそ、自分の思いを言葉で伝え、相手の話を丁寧に聴く対話が重要になります。対話を通して、お互いを理解し合う経験は、人としての成長につながります。

さらに、**対話力は授業の中でも重要な役割を果たします。**自分の考えを話し、友だちの意見を聴くことで、新たな気づきが生まれ、学びが深まります。間違いを恐れずに話すこと、分からないことを質問することも、対話力の一部であり、学力向上にも直結する大切な資質能力の1つです。

対話力とは、言い換えると「『違い』を前提として互いの考えを粘り強くすり合わせていくコミュニケーション力」といえると考えております。対話を重ねることで、人と人とのつながりは深まり、安心して過ごせる学校・社会がつけられていきます。今後も学校と家庭が連携しながら、子どもたちの対話力を育てていきたいと考えております。ご理解ご協力のほどよろしくお願いいたします。



2学年東京校外学習
体験活動の一コマ

2月の予定

日	曜	学校・学年行事等
2	月	●3年三者面談(4/4) ●4時間授業
5	木	●3年学年末テスト1日目 ●部活動停止期間(13日まで)
6	金	●3年学年末テスト2日目
7	土	●チャレンジスクール
11	水	●建国記念の日
12	木	●1・2年学年末テスト1日目
13	金	●1・2年学年末テスト2日目 ●学校運営協議会 13:50～
16	月	●専門委員会(後5/6)
17	火	●1年⑥館岩自然の教室前日指導 ●木曜授業
18	水	●1年館岩自然の教室(1/3)
19	木	●1年館岩自然の教室(2/3) ●火曜授業
20	金	●1年館岩自然の教室(3/3)
21	土	●チャレンジスクール
23	月	●天皇誕生日
25	水	●3年給食最終日
26	木	●3年入試学力検査●3年3時間授業
27	金	●3年入試実技検査●3年3時間授業

※1月の安全点検の結果、安全上の問題はあり
ませんでした。

特別支援学級作品展

岩槻区の特別支援学級による作品展が1月30日(金)から2月1日(日)までの期間で開催されています。

本校の生徒たちは30日(金)に受付業務や他校の生徒の作品見学のため、コミュニティーセンターいわつきに行ってきました。



【SNSトラブルに関する注意喚起】

「許可なく、写真や動画をSNS上に掲載する」などのSNSの使い方に関連したトラブルが発生しています。

生徒一人ひとりが安心して学校生活を送れるよう、ご家庭での見守りをお願いします。

SNSは便利な一方で、一度送った言葉や画像は完全に消すことが難しく、相手にどのように受け取られるかも分かりません。一定時間で消えるショート動画がよく利用されますが、絶対に安全とは言えません。

トラブルを防ぐために、以下の点を改めて確認してください。

- ・相手が不快に感じる可能性のある言葉は送らない。
- ・深夜の連絡やしつこいメッセージは控える。
- ・写真や動画を許可なく撮影・投稿しない。
- ・「既読」に対する過度な要求やプレッシャーをかけない。
- ・不安なときは必ず大人に相談する。